

# 日本簿記学会ニュース

No. 60:12 / 2015

## 《部会・大会の経過報告》

第31回全国大会は、平成27年8月28日(金)から8月30日(日)に中央カレッジグループ校舎(群馬県前橋市)及びホテルラシーネ新前橋にて開催されました。詳しい内容は本紙全国大会記をご覧ください。

## 《大会・部会のご案内》

第32回関西西部会は、平成28年5月21日(土)に桃山学院大学にて、第32回関東部会は、平成28年6月18日(土)に横浜国立大学(準備委員長:原俊雄氏)にて、第32回全国大会は、平成28年8月19日(金)から8月21日(日)に大阪経済大学(準備委員長:本田良巳氏)にて各々開催される予定です。

## 《第31回全国大会正会員出席者状況》

第31回全国大会への正会員の出席者の状況は以下の通りでした。

	全	体	大学関係者	高等学校	専門学校	職業会計人	その他
参加者数	177名	133名	20名	10名	7名	7名	
比率	100.0%	75.1%	11.3%	5.7%	4.0%	4.0%	

(注) 各区分の比率を小数点第1未満で四捨五入しているため、僅少差0.1%が生じておりますが、便宜上、表示しておりません。

## 《平成28・29年度研究部会の募集》

平成28・29年度の簿記理論研究部会、簿記実務研究部会、簿記教育研究部会を下記の通り募集いたします。申し出は、研究テーマ・メンバーを明記の上、事務局宛にお願いいたします。締切は、平成28年3月31日です。

- (1) 研究期間は、第32回全国大会(平成28年)会員総会承認から2年です。
- (2) 研究成果の報告は、1年経過後の第33回全国大会(平成29年)における中間報告および第34回全国大会(平成30年)における最終報告の2回となります。
- (3) 研究成果につきましては冊子等を作成いただきます。
- (4) 研究部会費は1部会200,000円(年間)です。
- (5) 研究部会メンバーは当学会会員とします。
- (6) 研究部会メンバーの人数に制限はありません。

## 《平成26・27年度研究部会のメンバー追加》

簿記理論研究部会「帳簿組織の研究」部会長:原俊雄(横浜国立大学)

追加メンバー:西館司(愛知学院大学) 松下真也(松山大学) 金子善行(帝京大学)

簿記教育研究部会「簿記の学びの伝統と革新」部会長:工藤栄一郎(西南学院大学)

追加メンバー:飛田努(福岡大学)【オブザーバー】

簿記実務研究部会「中小企業における業種別工業簿記・原価計算実務に関する研究」

部会長:飛田努(福岡大学)

追加メンバー:鶴池幸雄(沖縄国際大学) 宗田健一(鹿児島県立短期大学)

## 《平成 27 年度日本簿記学会学会賞および奨励賞について》

平成 27 年度の日本簿記学会学会賞及び奨励賞は、学会賞審査委員会（委員長：高須教夫，委員：藤井禎晃，峯 正哉，泉 宏之，佐藤信彦）における選考とその結果報告を承けて、理事会において次のように決定した。

学会賞：島本克彦著『簿記教育上の諸問題』（関西学院大学出版会，平成 27 年 3 月発行）

奨励賞：中村英敏稿「簿記の成績に影響を与える要因の分析—各教科の得意度・出席状況・性別等と成績に関する調査—」（第 30 回全国大会・自由論題報告）（『日本簿記学会年報』（第 30 号）に掲載済み）

そこで以下においては、学会賞及び奨励賞について審査の過程とその授賞理由について説明する。

学会賞については、候補作品として 2 点の推薦があり、これらの作品について、8 月 28 日開催の審査委員会において、①新規性、②信頼性、③有用性、④適合性という 4 つの評価基準に基づき審査を行い、上記の 1 点を授賞作品として選考した。そこで、会員総会において公表した授賞理由を次に掲げておくことにする。

本書は、著者の約 40 年に及ぶ商業高校及び大学での教育経験に基づいた簿記教育に関する研究成果をまとめたものである。そして、本書においては、従来あまり取り扱われることのなかった簿記教育の目標についての検討が行われており、また簿記教育に係わる多岐にわたる問題を多面的に検討している点が評価できる。しかもここでは、多くの文献の検討を通じて論理の展開・説明が行われており、興味深い知見が示されている。ただし、本書においては、必ずしも全体を通じて一貫した論理展開が行われてはいないが、その一方で、ここでは教育経験に裏打ちされた的確な指摘が行われており、簿記教育の発展に寄与するものと判断した。

なお、審査委員会においては、本書が簿記教育に関する著書であることから、「全体を通じて一貫した論理展開」は行われていないが、それが「簿記教育に係わる多岐にわたる問題を多面的に検討」することを可能にしているともいえることから、それを短所ではなく長所と考えていることを付記しておく。

また、奨励賞については、6 月 27 日開催の審査委員会において『日本簿記学会年報』掲載論文の中から予備選考（年齢等の形式審査）を行い、候補作品として 3 点を選んだ上で、8 月 28 日の審査委員会において、学会賞と同様の 4 つの評価基準に基づき審査を行い、上記の 1 点を授賞作品として選考した。そこで、会員総会において公表した授賞理由を次に掲げておくことにする。

本論文では、これまで我が国を対象とした研究がほとんど行われていない中、簿記授業の成績に影響する要因の研究を行っている点は評価できる。しかもここでは、収集したデータを用いて統計分析を行い、それに基づき解釈が行われている。ただし、本論文においては、データの収集方法について、また分析結果の解釈において十全でない点が認められるが、かかる研究をさらに発展させることで、簿記教育等に資するインプリケーションを得ることができると判断した。

なお、ここで授賞理由として「かかる研究をさらに発展させることで、簿記教育等に資するインプリケーションを得ることができる」ことをあげているが、これはこのような研究が大学、高等学校、専門学校等を通じて行われることにより成果の蓄積が図られることを期待してのことであることを付記しておく。

日本簿記学会学会賞審査委員会  
委員長 高須教夫

## 《日本簿記学会学会賞審査委員会からのお願い》

学会賞審査委員会では、会員の皆様からの学会賞候補にふさわしい著書等のご推薦をお願いいたします。推薦の手続等については、学会ホームページをご確認ください。また、推薦書籍等については 5 部ご提出ください。

日本簿記学会学会賞審査委員会



## 《日本簿記学会会則改正について》

改正の趣旨：定時会員総会の議長の委任規定を追加する。

改正後	現 行
昭和 60 年 10 月 12 日制定 平成 27 年 8 月 29 日最終改正	昭和 60 年 10 月 12 日制定 平成 26 年 8 月 30 日最終改正
(会長) 第 10 条 ： 3. 会長は、会員総会および理事会を招集し、その議長となる。 <u>なお、定時会員総会の議長については、会員総会の承認を得て、当該大会準備委員長もしくは他の正会員に委任することができる。</u>	(会長) 第 10 条 ： 3. 会長は、会員総会および理事会を招集し、その議長となる。
(附則) この会則は平成 27 年 8 月 29 日より実施する。	(附則) この会則は平成 26 年 8 月 30 日より実施する。

平成 26 年 8 月 29 日以降、平成 27 年 8 月 27 日までに申し込まれ、8 月 28 日開催の理事会で入会が承認された新会員は以下の通りです。

### 入 会 会 員 名 簿

(名簿の番号は会員番号)

番 号	氏 名	所 属 機 関	番 号	氏 名	所 属 機 関
2015-001	庄司 樹古	北海学園大学経営学部	2015-024	川端 康浩	中央情報経理専門学校
2015-002	大泉 早智子	日本薬科大学薬学部 非常勤講師	2015-025	橋 上 徹	県立広島大学経営情報学部
2015-003	川崎 定昭	川崎公認会計士事務所	2015-026	綾野 孝彦	綾野孝彦税理士事務所
2015-004	佐々木 克明	税 理 士	2015-027	玉繁 克明	広島県立総合技術高等学校
2015-005	松崎 堅太郎	税理士・公認会計士 松崎堅太郎事務所	2015-028	中島 慎太郎	学校法人有坂中央学園
2015-006	中田 麻貴	豊 橋 創 造 大 学	2015-029	矢澤 利弘	公 認 会 計 士
2015-007	渡 邊 圭	千葉商科大学会計教育研究所	2015-031	三浦 徹志	大阪経済大学経営学部
2015-008	橋本 幸二郎	公認会計士・税理士 安静事務所	2015-032	岩崎 千晶	関 西 大 学
2015-010	佐藤 豊和	名古屋経済大学経営学部	2015-033	岡部 隆男	学校法人郡山学院
2015-011	山下 知晃	福 井 県 立 大 学			
2015-013	梅田 浩二	名古屋市立大学経済学研究科研究員	2015-009	西嶋 優子	一橋大学大学院商学研究科
2015-014	加藤 大吾	早稲田大学大学院会計研究科	2015-012	村上 翔一	明治大学大学院経営学研究科
2015-015	鷹 背 直也	山形県立産業技術短期大学校庄内校	2015-017	木村 勝則	京都大学大学院経済研究科
2015-016	新 谷 弥	北海道札幌東商業高等学校	2015-018	塚 原 慎	一橋大学大学院商学研究科
2015-020	星 野 浩	中央情報経理専門学校	2015-019	井奈波 晃	中央大学大学院商学研究科
2015-021	後藤 小百合	高崎商科大学商学部	2015-022	松田 有加里	神戸大学大学院経営学研究科
2015-023	岩田 和人	中央情報経理専門学校	2015-030	坂 内 慧	一 橋 大 学 大 学 院

### 編集後記

会員の皆様のおかげで、このニュースも 60 号を迎えることができました。これからも皆様に有益なニュースをお届けしてまいります。

(小澤・中村・兵藤・和田・渡邊)

発行所  
編集兼  
発行人

日本簿記学会事務局

事務連絡所

〒 101-0021 東京都千代田区外神田 5-1-15  
株式会社白桃書房

e-mail boki@hakutou.co.jp

URL <http://www.hakutou.co.jp/boki/>